

各位

会社名 デジタルアーツ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 道具 登志夫
 コード番号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
 問合せ先 取締役 管理本部担当 宮脇 真樹
 (TEL 03-3580-3080)

平成19年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年2月8日の「平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)」発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 単体通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,252	252	146
今回修正予想(B)	1,342	376	219
増減額(B-A)	90	124	73
増減率(%)	7.2%	49.5%	50.2%
前年同期実績(平成18年3月期)	1,338	465	256

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

2. 平成19年3月期 連結通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,304	219	102
今回修正予想(B)	1,387	343	175
増減額(B-A)	83	124	73
増減率(%)	6.4%	56.8%	71.7%
前年同期実績(平成18年3月期)	1,389	418	207

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

3. 修正の理由

2008年から施行される「財務報告に関する内部統制」意見書(「日本版SOX法」実施ガイドライン)の公表による内部管理・セキュリティに係わるIT需要の高まり、並びに今年2月に電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」を新たに商品ラインナップに加え製品力を強化した結果、当初の計画を上回る売上となる見込となりました。

あわせて、業務フローの改善にも積極的に取り組んだ結果、売上原価並びに販売費及び一般管理費に関しても、当初の計画に比ベコストの削減が実現できる見通しであります。

こうしたことにより、前回発表した連結業績予想に対して連結・単体共に、経常利益並びに当期純利益が大きく見込みを上回る見通しでありますので、ここにご報告いたします。

(注)

- 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本発表数値につきましては速報値でありますので、決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上